

平成28年1月期 決算発表ご説明資料

(当社第6期 平成27年2月1日～平成28年1月31日)



丸善CHIホールディングス株式会社

平成28年3月15日

1. 当社の体制図

顧

客

丸善CHIホールディングス株式会社

店舗・ネット
販売事業

出版事業

文教市場
販売事業

図書館サポート
事業

その他事業

株式会社丸善
ジュンク堂書店

※2015年2月1日付丸善書店(株)が丸ジュンク堂書店を吸収合併し株式会社丸善ジュンク堂書店に商号変更されている

株式会社図書館流通センター

丸善出版
株式会社

丸善雄松堂株式会社

※2016年2月1日付丸善(株)が丸雄松堂書店を吸収合併し丸善雄松堂(株)に商号変更されている

※子会社の事業領域を含む

(親会社 大日本印刷株式会社)

2. 当期・平成28年1月期 業績サマリー(連結)

- 当期は、市場環境の厳しさを予想していたものの、大学や研究機関向け書籍販売や図書館サポート事業が堅調に推移し、また店舗内装業やPC・スマートフォン等の修理サービス事業のその他事業が好調であったことから、売上高は期初予想を約51億円(+3.0%)上回った。
- 上記増収要因のほか、大学向け事業を中心に原価改善、コスト削減効果が想定を上回り、営業利益は約1.7億円(+8.6%)、経常利益は約3.3億円(+17.2%)、当期純利益は約1.7億円(+20.6%)、それぞれ期初予想を上回った。

◆平成27年2月1日～平成28年1月31日

(単位:百万円)

【平成28年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想値 (平成27年3月13日発表)	170,000	2,030	1,900	850
実績(本日発表)	175,137	2,204	2,226	1,025
対業績予想 増減	+5,137	+174	+326	+175
対業績予想 比率	103.0%	108.6%	117.2%	120.6%

2. 当期・平成28年1月期 業績サマリー・前年比

- 売上高は、店舗・ネット販売事業における大型店の出店、図書館サポート事業の案件増加、その他事業において、店舗内装業の案件が増加したこと、及び(株)明日香(総合保育サービス)を連結対象としたことなどにより、前年比で約63億円(+3.7%)上回った。
- 営業利益では、上記増収要因および原価改善、コスト削減等の効果により、前年比約1.8億円(+8.9%)の増益となった。また経常利益は約3.3億円増(+17.3%)、当期純利益は約1.8億円(+21.4%)の増益となった。

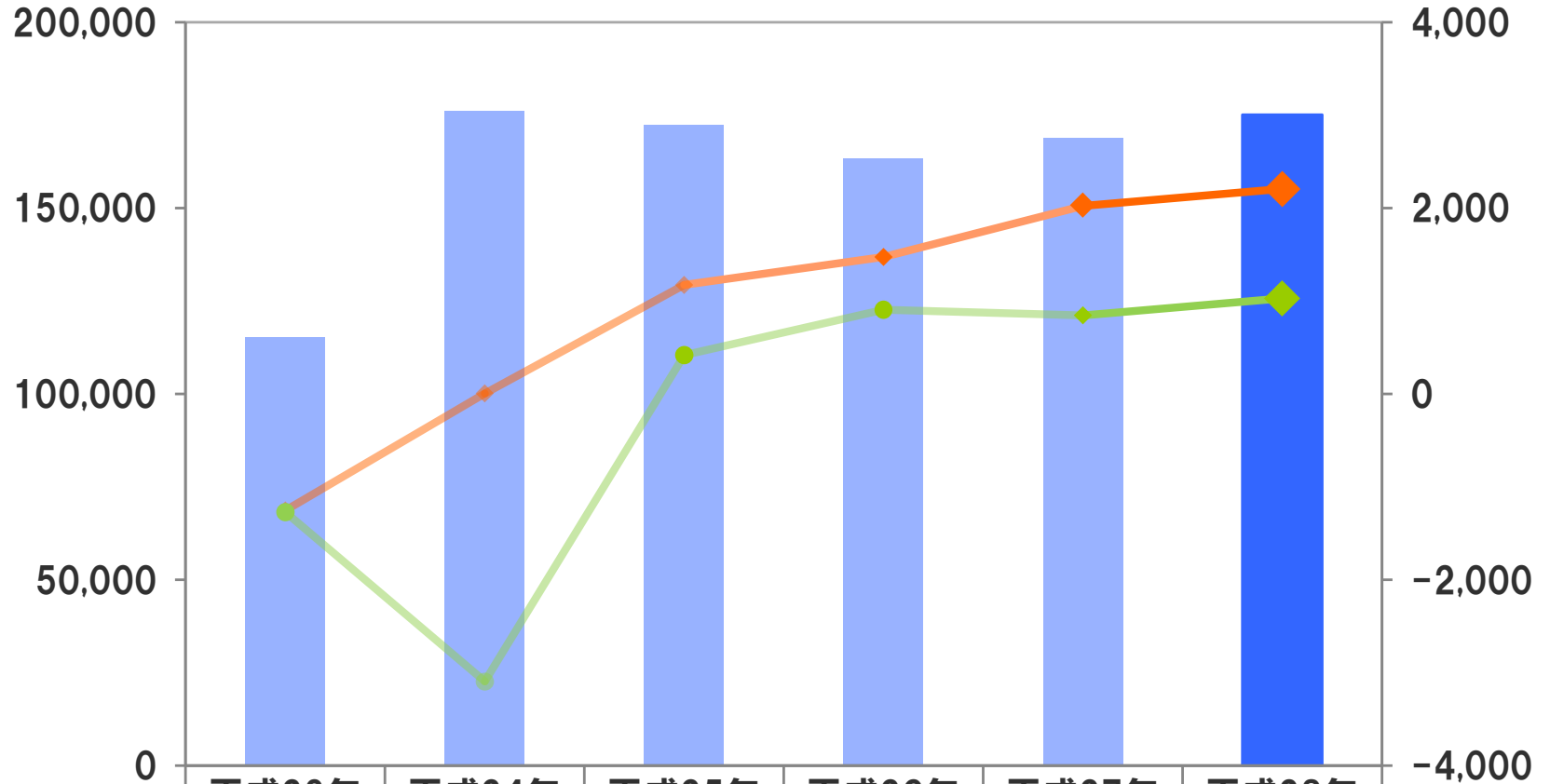
◆平成27年2月1日～平成28年1月31日 前年同期比

(単位:百万円)

【平成28年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成27年1月期)	168,812	2,024	1,897	845
当期実績 (平成28年1月期)	175,137	2,204	2,226	1,025
対前年同期 増減	+6,324	+180	+329	+180
対前年同期 比率	103.7%	108.9%	117.3%	121.4%

2. 業績サマリー 推移表(連結)

(単位:百万円)



■ 売上高	115,270	176,013	172,289	163,337	168,812	175,137
◆ 営業利益	-1,255	5	1,172	1,473	2,024	2,204
◆ 当期純利益	-1,273	-3,096	416	904	845	1,025

3. 当期・平成28年1月期のセグメント損益(連結)

◆平成27年2月1日～平成28年1月31日

(単位:百万円)

連結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	59,547	59,531	100.0%	1,808	1,562	115.8%
店舗・ネット販売事業	75,223	73,993	101.7%	△335	△64	---
図書館サポート事業	20,669	19,269	107.3%	2,124	2,000	106.2%
出版事業	4,571	4,714	97.0%	325	362	89.7%
その他事業	15,125	11,304	133.8%	755	378	199.8%
消去又は全社	---	---	---	△2,474	△2,215	---
合計	175,137	168,812	103.7%	2,204	2,024	108.9%

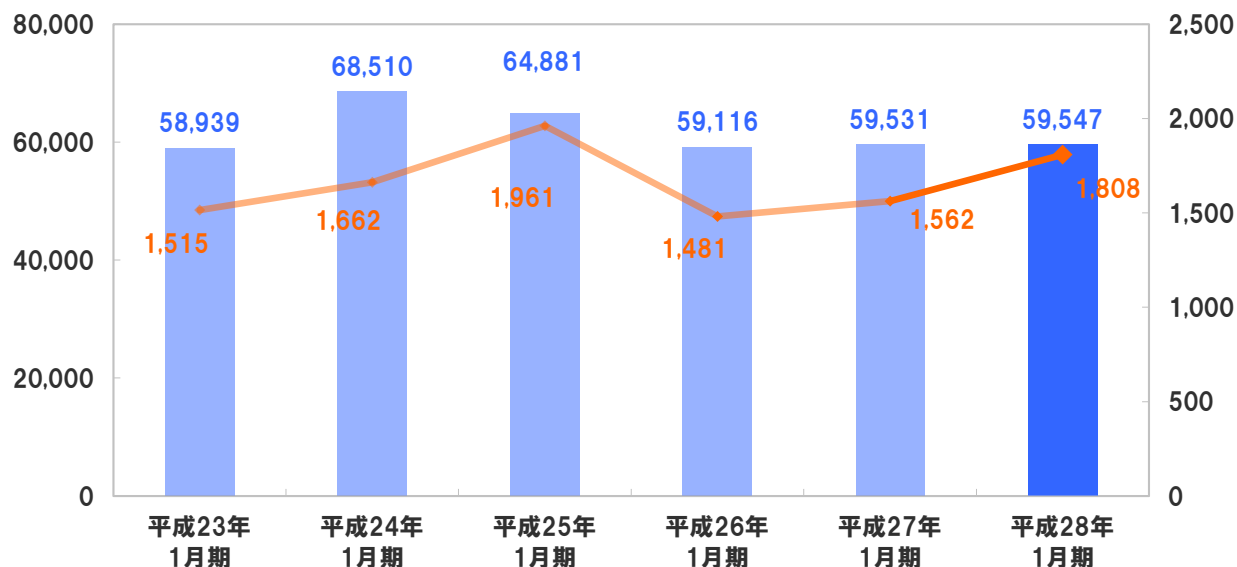
4. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成28年 1月期	59,547	1,808
対前比	15 (100.0%)	246 (115.8%)

- 自治体、大学ともに厳しい予算状況の中、大学及び研究機関向け書籍販売において、洋書・外国雑誌が堅調に推移した結果、売上高は前年並みとなった。
- また、外国雑誌の収益増加をはじめとする利益率の改善や経費減の効果により、営業利益は前年比+15.8%の増益となった。

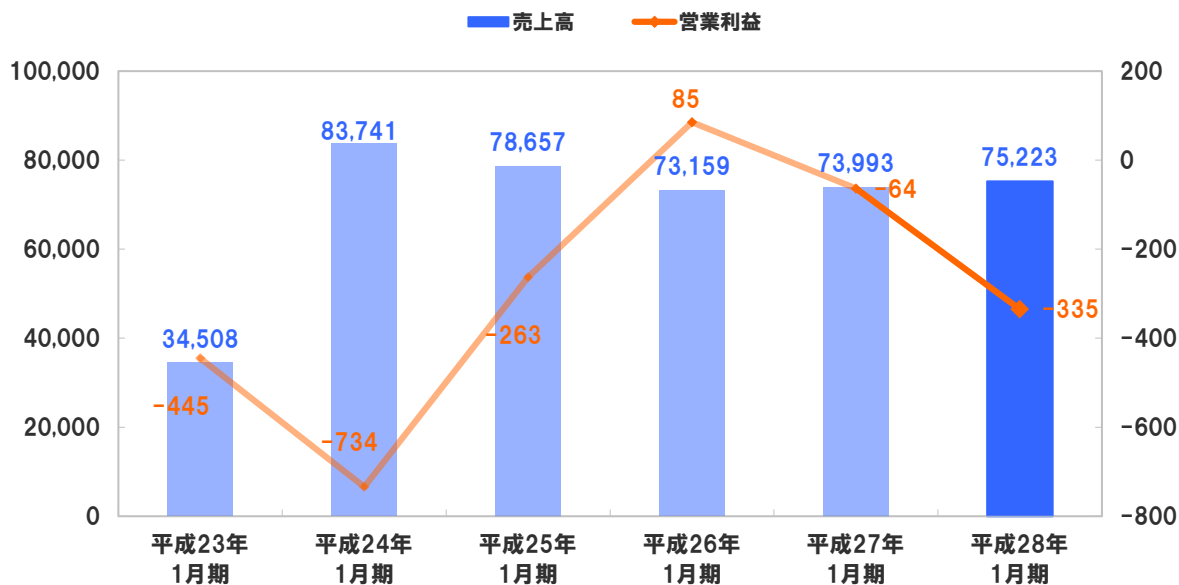
■ 売上高 ● 営業利益



4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成28年 1月期	75,223	△335
対前比	1,230 (101.7%)	△271 (---)

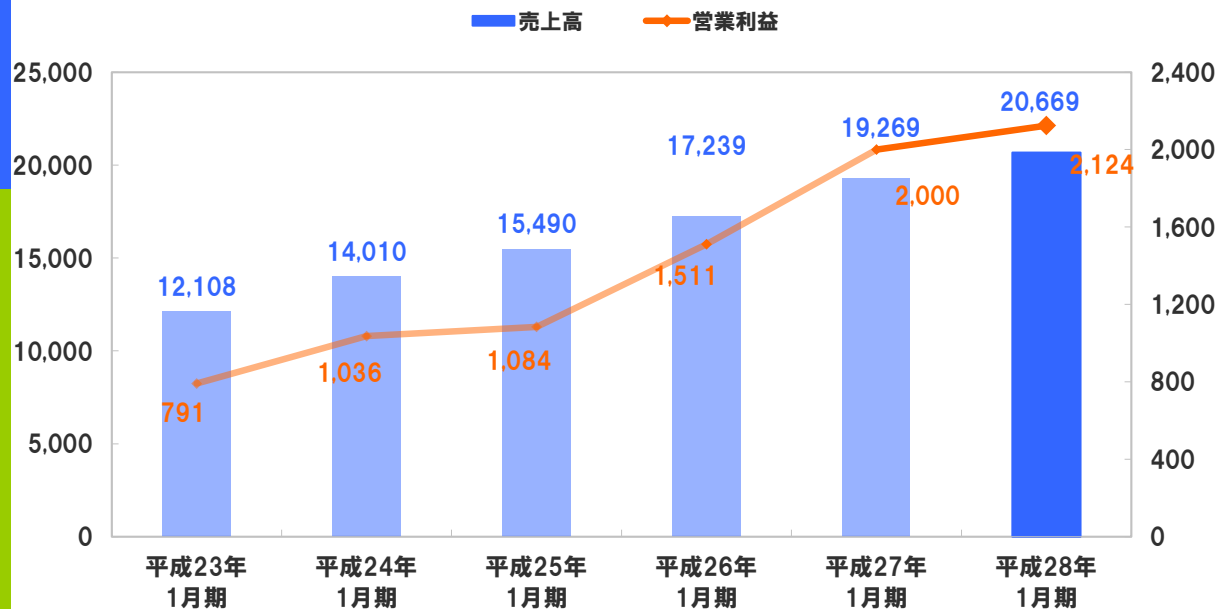


- 当期において大型店を含む9店舗を出店し、8店舗を閉店し、スクラップ&ビルドを継続した結果、売上高は前年比+1.7%の増収となった。
- 一方、営業利益は、厳しい市場環境の中でも既存店は比較的順調に推移したものの、大型新規出店に伴う初期費用や店舗改装費用などの一時的な経費増により、前年比△2.7億円の減益となった。
- 平成28年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」ブランド以外の店舗名を含め、99店舗となっている。

4. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成28年 1月期	20,669	2,124
対前比	1,400 (107.3%)	124 (106.2%)

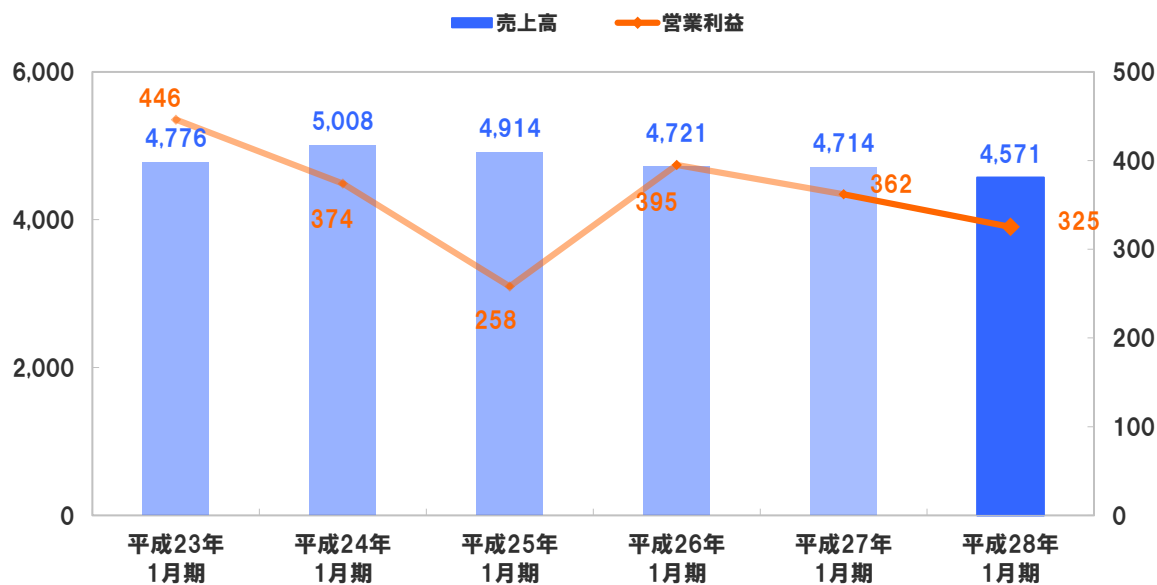


- 図書館受託館数の増加により、売上高は前年比+7.3%の増収となった。
- 営業利益は、引き続き増収による増益を基調としつつ、安定的な人材確保のため人件費関連コストの増加もあり、前年比+6.2%の増となった。
- 大学図書館・公共図書館等合計の受託館数は、小規模な案件も含め、期初878館から213館増加し、期末受託館数は合計1,091館となった。

4. 主要事業 ④出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成28年 1月期	4,571	325
対前比	△142 (97.0%)	△37 (89.7%)



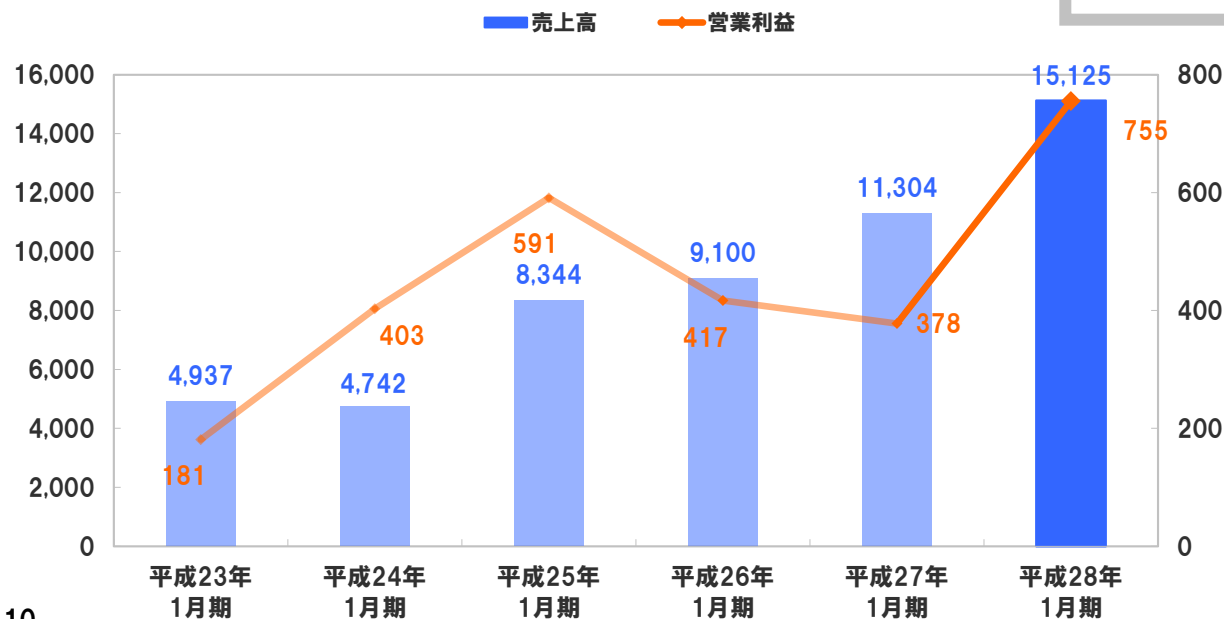
- 新刊刊行数が前年に比べ11点減少したこと及び映像メディア商品の取引が減少したことにより、売上高は前年比△3.0%の減収となった。
- 営業利益は、児童書分野(岩崎書店)は順調に推移したが、専門書分野(丸善出版)で、既刊書の売上が鈍く、また映像メディア商品の取引減少により、全体で前年比△10.3%の減益となった。
- 当期は、児童書分野及び専門書分野をあわせて、300点の新刊を刊行した。

4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成28年 1月期	15,125	755
対前比	3,821 (133.8%)	377 (199.8%)

- 店舗内装関連事業やPC・スマートフォン等の修理サービス業務(グローバルソリューションサービス(株))が順調に推移した結果、また総合保育サービスの(株)明日香を連結範囲に含めた影響により売上高は前年比+33.8%の増収となった。
- これにより、営業利益も前年比+99.8%と大幅な増益となった。



5. 来期・平成29年1月期(当社第7期)業績予想

- 平成29年1月期においては、引き続き書籍・雑誌販売市場の継続的な縮小や大学図書館における紙による書籍の購買の減少など、依然として市場環境は厳しく推移すると予想されます。
- 当社グループでは、成長戦略である書店収益力の改善、大学向け事業の構造改革、図書館を核にした地域活性化事業の推進に取り組んでまいります。
- とくに、本年2月の丸善(株)と(株)雄松堂書店の経営統合による効果の発揮や、公共図書館における社会や地域の課題への対応、大学図書館における教育の質的向上など、多様なニーズに対し当社グループの総合力を最大に発揮できる施策に積極的に取り組むことで、平成29年1月期は増収増益の業績を見込んでおります。(なお、経常利益については平成28年1月期において一過性の営業外収益があったために、微増となっております。)

(単位:百万円)

【平成29年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期業績予想	91,400	1,730	1,650	1,050
通期業績予想	<u>176,500</u>	<u>2,410</u>	<u>2,260</u>	<u>1,170</u>
当期実績(通期)との比較	+1,363 0.8%増	+206 9.3%増	+34 1.5%増	+145 14.1%増
[平成28年1月期通期実績]	175,137	2,204	2,226	1,025

ご参考資料

当期のトピックス

<2015年>

- 2月：丸善書店(株)と(株)ジュンク堂書店を合併し、(株)丸善ジュンク堂書店に商号を変更。
- 4月：(株)丸善ジュンク堂書店が東海地区最大級の「MARUZEN 名古屋本店」をオープン。
- 8月：(株)丸善ジュンク堂書店が、梶井基次郎の「檸檬」にも登場した「丸善 京都本店」を10年ぶりにオープン。
- 9月：丸善(株)の子会社である(株)編集工学研究所が、リニューアルオープンした無印良品有楽町店の「MUJI BOOKS」の選書を担当。
- 10月：(株)丸善ジュンク堂書店、(株)図書館流通センター、丸善(株)による図書館と大型書店を融合した文化・交流施設「OKEGAWA honプラス+(オケガワホンプラス)」をオープン。
- 10月：丸善(株)が大日本印刷(株)、一般財団法人東京大学出版会とともに、大学・大学教員向け教材開発支援サービスの提供を開始

<2016年>

- 2月：丸善(株)と(株)雄松堂書店を経営統合し、丸善雄松堂(株)に商号を変更。

DNPグループのハイブリッド型総合書店「honto」との共通ポイントサービスは丸善ジュンク堂書店で計74店舗に拡大(2016年2月時点。文教堂含むhonto提携店舗全体では197店舗(前年同期は150店舗))。

新規出店・リニューアル店舗

*印は、リニューアル店舗

	店名	面積	蔵書	文具	備考
4月	MARUZEN 名古屋本店	約1,474坪	約120万冊		
	丸善 高島屋大阪店	約180坪	約10万冊	2万点	
	ジュンク堂書店 大泉学園店	約250坪	約30万冊		
7月	丸善 岐阜店	約750坪	約75万冊		
8月	丸善 京都本店	約1,000坪	約100万冊		
10月	丸善 桶川店	約380坪	約50万冊		
	ジュンク堂書店 高松店	約1,100坪	約100万冊		
	MARUZEN 高松店	約200坪		4万点	
	丸善 新宿京王店*	+約62坪			書籍売場を追加
1月	ジュンク堂書店 名古屋栄店	約600坪	約60万冊		

<閉店店舗>

2月:丸善 パピエ田無店、丸善 町田ジョルナ店、5月:丸善 水戸エクセル店、7月:ジュンク堂書店 京都朝日会館店、丸善 京都四条烏丸店、12月:丸善 名古屋栄店、丸善 アークヒルズ店、1月:丸善 そごう川口店

「知」と地域社会をつなぐ取り組み

- 当社グループは「知は社会の礎である」という共通の価値観のもと、「知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる」というグループビジョンを掲げ、知を求めるすべての人々と、知を提供する出版流通の接点の拡大を目指しております。
- 当社グループが発信する知を中心に、地域社会への貢献を目指した2つの取組をご紹介します。

➤ OKEGAWA honプラス+

丸善(株)、(株)図書館流通センター、(株)丸善ジュンク堂書店がそれぞれの事業領域の強みを活かして桶川市が描く将来像「みんなでつくり育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」を実現すべく、駅西口図書館と丸善桶川店が融合した新しい文化・交流施設「OKEGAWA honプラス+」をオープンさせました。

図書館と書店を結ぶスペースは、都市の未来を育成する文化・交流のための活動拠点として、土日を中心に、本に関する楽しいイベントや、地元埼玉県を中心とする大学などと連携したワークショップなどのイベントを企画・開催しています。

桶川市民の皆様にとって次世代の知の広場となるような新たな出会い・気づき・コミュニティづくりに当社グループとして貢献してまいります。



「知」と地域社会をつなぐ取り組み

➤ 千葉県初の無料託児サービス 八千代市立中央図書館

児童サービスの充実や子育て世代に優しい図書館の建設を計画していた八千代市生涯学習振興課と、核家族化、密室育児を原因のひとつとした子どもの虐待など、厳しさを増す現在の育児環境に「図書館から子育て家庭を応援したい」との願いを持つ(株)図書館流通センターと子会社の(株)明日香によって、2015年7月より八千代市立中央図書館で、図書館利用者向け無料託児サービスを開始しました。

利用者からは「子どもがすっかり保育士さんを気に入ってしまい、『図書館で先生に会おうか』というと喜んで出かけています」「初めての子なので何もわからず、保育士さんとお話ができ気が楽になりました」「専業主婦なので長時間預けるには罪悪感がありますが、当日気軽に1時間というのがちょっと息抜きができてうれしい」など、喜びの声が多く寄せられ、各種メディアにも取りあげられて、大変好評を得ています。



★ 図書館内 無料託児サービス ★

対象：0歳～6歳までの未就学児

実施：週3回

時間：10:00～14:00のうち1時間

料金：無料



MARUZEN CHI
Holdings

本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。